

## 石岡の街を近未来の乗り物が走る！

# 出光興産で現在開発中の電気自動車の走行実験



石岡市南台にある出光興産株式会社の石岡研修センターとその周辺では、同社が現在開発中の超小型電気自動車の走行実験が行われています。自動車の名前は「ideta」。「ideta」が見据える未来の社会とはどのようなものなのでしょうか。

取材すると、出光興産社員の皆さんの努力のもと、石岡から新しいモビリティの時代がスタートしていることが感じられます。

ゼロカーボンシティ宣言都市・石岡のレトロな街並み、豊かな自然の中を近未来の自動車が走ります。



### 自動車を取り巻く現状

「車離れ」が進む中、乗用車の年間販売台数は約350万台（2023年）と言われており、ここ5年間で約8割程の減少傾向が見られます。うちBEV（バッテリー式電動自動車）は約6万台と全体の2%弱程で、まだ多くの人に普及しているとは言えません。

しかし「カーボンニュートラル」が国の目標として掲げられた今、電気自動車は見直されており、2030年～2040年にかけて従来のガソリン車と電気自動車の割合が逆転するのではないかと予測されています。同時に超小型電気自動車である「ideta」の果たす役割にも大きな期待が寄せられています。

### 「ideta」の未来 私たちの未来

電気自動車に充電するための「充電環境の整備」は、利潤が生みだしにくいことで、なかなか普及しないことが大きな社会課題ともなっています。出光興産では、これまでのガソリンスタンドのスタイルから、より地域のあらゆるニーズに対応できる拠点づくりを目指す「スマートよろずや」構想を掲げ、人、もの、資源、サービスを効率的に循環させる「生活支援基地」として進化させていこうとされています。その中で「ideta」は、地域の様々な移動課題を解消する新しい時代の乗り物として、開発が進められています。



### 超小型電気自動車「ideta」プロフィール

軽自動車よりコンパクトながら、大人4人がしっかり乗れます。開発中の段階で、まだ一般ユーザー向けには展開されておりませんが、保安基準のクリア（型式認定）に向け、出光興産の皆さんは一丸となって頑張っています。

### 「ideta」が一般向けに普及したら…

自転車で子どもを送迎しているお母さんがより快適に！



小型のため高齢者でも運転しやすい！

### もっと身近に！出光興産



研修センターは最先端の実験が行われる一方で、自然豊かな場所です。敷地内の遊歩道は一般の人も入ることができ、四季折々の自然が楽しめます。